



2021年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年5月13日

上場取引所 東

上場会社名 昭光通商株式会社
 コード番号 8090 URL <https://www.shoko.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 稲泉 淳一
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 島田 育男 TEL 03-3459-5051
 四半期報告書提出予定日 2021年5月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満四捨五入)

1. 2021年12月期第1四半期の連結業績（2021年1月1日～2021年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第1四半期	26,976	△3.0	501	8.3	601	20.8	447	△75.1
2020年12月期第1四半期	27,801	△13.0	462	△41.7	497	△44.1	1,792	118.0

(注) 包括利益 2021年12月期第1四半期 505百万円 (△68.9%) 2020年12月期第1四半期 1,626百万円 (80.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
2021年12月期第1四半期	円 銭 40.84	円 銭 —
2020年12月期第1四半期	円 銭 163.84	円 銭 —

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年12月期第1四半期	52,582	13,914	25.9	1,243.16
2020年12月期	56,114	13,433	23.4	1,198.74

(参考) 自己資本 2021年12月期第1四半期 13,597百万円 2020年12月期 13,112百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2020年12月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 0.00
2021年12月期	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —
2021年12月期(予想)	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年12月期の連結業績予想（2021年1月1日～2021年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	113,000	12.2	1,500	15.6	1,700	4.6	1,400	△45.9	127.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年12月期 1 Q	11,271,468株	2020年12月期	11,271,468株
② 期末自己株式数	2021年12月期 1 Q	333,724株	2020年12月期	332,898株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年12月期 1 Q	10,938,361株	2020年12月期 1 Q	10,939,359株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、〔添付資料〕3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、昨年来の持ち直しの動きは続いているものの、輸出や個人消費など一部で足踏みも見られ、新型コロナウイルス感染症の影響から、景気は依然、厳しい状況で推移しました。

当社グループは、将来の持続的成長を実現するための基盤整備ステージと位置づけた中期経営計画の最終年を迎えました。引き続き、「リスク管理の更なる強化」「復配の実現」「事業構造改革の完遂」を重点課題とし、諸施策を実行しています。

また、新型コロナウイルス感染症拡大防止に向け、当社グループは、最大限在宅勤務を活用する等、感染拡大防止を最優先にした施策を行っています。同時に、お客様に対する継続したサービス提供に注力しています。

このような状況の中、当第1四半期連結累計期間の当社グループ事業におきましては、主要商材の販売は徐々に回復しつつあるものの、前年に、建材や工事関連事業の再構築を行ったことから、売上高は前年同期を下回りました。

一方、出張の自粛等による一般管理費の減少が続いていることや、持分法による投資利益の増加等により、営業利益及び経常利益は前年同期を上回りましたが、前年同期は特別利益として、賃貸用不動産の売却による固定資産売却益の計上があったこと等から、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期を下回りました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は269億76百万円（前年同期比3.0%減）、営業利益は5億1百万円（前年同期比8.3%増）、経常利益は6億1百万円（前年同期比20.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億47百万円（前年同期比75.1%減）となりました。

セグメント別の経営成績は以下のとおりであります。

(化学品セグメント)

化学品関連は、一部商材は堅調に推移しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響等により、販売が減少したことから、減収となりました。

科学システム関連につきましては、前年後半以降の需要回復が継続し、増収となりました。

以上の結果、売上高は86億85百万円（前年同期比1.8%増）、営業利益は2億13百万円（前年同期比23.6%増）となりました。

(合成樹脂セグメント)

国内取引では、需要は回復基調で推移し、販売は増加しましたが、国産ナフサ価格の変動により販売価格が下落したことから、減収となりました。一方、貿易取引では、輸出販売が堅調に推移したことから、増収となりました。

以上の結果、売上高は75億86百万円（前年同期比0.7%増）、営業利益は62百万円（前年同期比102.1%増）となりました。

(金属セラミックスセグメント)

軽金属関連は、加工製品および原材料は、需要の回復により販売が増加しましたが、建材事業の再構築により、関連商材の販売が減少したことから、減収となりました。

無機材料関連は、黒鉛電極及び関連する商材の販売が減少するとともに、市況も下落したことから、減収となりました。

以上の結果、売上高は78億88百万円（前年同期比14.1%減）、営業利益は1億10百万円（前年同期比6.3%減）となりました。

(その他)

不動産関連は、賃貸物件の売却により減収となりました。

肥料農材関連は、農業資材関連の販売が減少したことから、減収となりました。連結子会社のShoko (Thailand) Co., Ltd. は、タイ国経済の回復から各種商材の販売が増加し、増収となりました。

以上の結果、売上高は28億18百万円（前年同期比10.5%増）、営業利益は1億15百万円（前年同期比18.8%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産は、525億82百万円（前連結会計年度末比6.3%減）となりました。主な要因は、「現金及び預金」の減少であります。

負債は、386億69百万円（前連結会計年度末比9.4%減）となりました。主な要因は、「支払手形及び買掛金」の減少であります。

純資産は、139億14百万円（前連結会計年度末比3.6%増）となりました。主な要因は、「親会社株主に帰属する四半期純利益」の計上による「利益剰余金」の増加であります。

この結果、自己資本比率は2.5ポイント上昇して25.9%になりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年12月期の連結業績予想につきましては、2021年2月12日に公表しました「2020年12月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」に記載の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,426	3,269
グループ預け金	9,000	9,050
受取手形及び売掛金	24,291	24,574
電子記録債権	4,485	4,740
商品及び製品	3,651	3,576
販売用不動産	1	1
仕掛品	118	108
原材料及び貯蔵品	499	417
その他	377	399
貸倒引当金	△29	△27
流動資産合計	49,819	46,108
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	302	296
機械装置及び運搬具(純額)	393	386
土地	1,651	1,651
その他(純額)	101	102
有形固定資産合計	2,447	2,436
無形固定資産		
のれん	5	4
その他	143	238
無形固定資産合計	147	242
投資その他の資産		
投資有価証券	2,533	2,621
繰延税金資産	228	228
長期未収入金	7,053	7,483
その他	958	964
貸倒引当金	△7,071	△7,499
投資その他の資産合計	3,701	3,796
固定資産合計	6,295	6,474
資産合計	56,114	52,582

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	20,795	18,463
電子記録債務	2,740	2,220
未払法人税等	181	78
賞与引当金	220	333
その他	2,791	1,620
流動負債合計	26,726	22,714
固定負債		
長期借入金	14,000	14,000
退職給付に係る負債	1,035	1,052
その他	920	903
固定負債合計	15,954	15,954
負債合計	42,680	38,669
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,022	8,022
資本剰余金	1	1
利益剰余金	4,258	4,705
自己株式	△483	△484
株主資本合計	11,797	12,243
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	164	191
繰延ヘッジ損益	△2	△12
土地再評価差額金	256	256
為替換算調整勘定	1,014	1,031
退職給付に係る調整累計額	△118	△112
その他の包括利益累計額合計	1,315	1,354
非支配株主持分	321	316
純資産合計	13,433	13,914
負債純資産合計	56,114	52,582

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)
売上高	27,801	26,976
売上原価	25,391	24,667
売上総利益	2,410	2,309
販売費及び一般管理費	1,948	1,808
営業利益	462	501
営業外収益		
受取利息	3	4
受取配当金	10	7
持分法による投資利益	54	83
その他	0	28
営業外収益合計	68	122
営業外費用		
支払利息	23	20
為替差損	6	—
その他	4	1
営業外費用合計	33	22
経常利益	497	601
特別利益		
固定資産売却益	1,528	—
特別利益合計	1,528	—
特別損失		
固定資産売却損	259	0
投資有価証券売却損	4	—
固定資産除却損	0	4
その他	0	—
特別損失合計	264	4
税金等調整前四半期純利益	1,761	597
法人税、住民税及び事業税	256	135
法人税等調整額	△311	△4
法人税等合計	△55	131
四半期純利益	1,816	467
非支配株主に帰属する四半期純利益	24	20
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,792	447

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)
四半期純利益	1,816	467
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△104	18
繰延ヘッジ損益	6	△10
為替換算調整勘定	△83	16
持分法適用会社に対する持分相当額	△15	9
退職給付に係る調整額	7	6
その他の包括利益合計	△190	39
四半期包括利益	1,626	505
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,603	486
非支配株主に係る四半期包括利益	23	20

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	化学品	合成樹脂	金属セラミックス	その他(注1)	計	調整額(注2)	四半期連結損益計算書計上額
売上高							
外部顧客への売上高	8,534	7,531	9,186	2,551	27,801	—	27,801
セグメント間の内部売上高又は振替高	11	18	17	163	210	△210	—
計	8,545	7,549	9,203	2,715	28,011	△210	27,801
セグメント利益(営業利益)	172	31	117	142	462	△0	462

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、肥料・農業資材、不動産、保険代理店業、海外事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△0百万円は、主にセグメント間取引消去であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	化学品	合成樹脂	金属セラミックス	その他(注1)	計	調整額(注2)	四半期連結損益計算書計上額
売上高							
外部顧客への売上高	8,685	7,586	7,888	2,818	26,976	—	26,976
セグメント間の内部売上高又は振替高	12	17	3	57	89	△89	—
計	8,696	7,603	7,891	2,876	27,066	△89	26,976
セグメント利益(営業利益)	213	62	110	115	500	0	501

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、肥料・農業資材、不動産、保険代理店業、海外事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額0百万円は、主にセグメント間取引消去であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

(当社に対する公開買付け)

S K Tホールディングス株式会社は、当社の普通株式に対する公開買付けにより、2021年4月22日に当社の普通株式を取得し新たに当社の親会社に該当することとなりました。なお、同社は2021年4月22日において、当社の普通株式6,069,412株(当社の総株主の議決権の数に対する議決権保有割合：55.49%(小数点以下第三位を四捨五入))を保有しております。

(資金の借入)

当社は、S K Tホールディングス株式会社による当社株式に対する公開買付けにより筆頭株主に異動が発生したことに関連して、2021年4月22日に旧筆頭株主である昭和電工株式会社からの長期借入金14,000百万円の返済、グループ預け金9,050百万円の回収及び10,000百万円の融資枠設定契約の解約を行っております。また、上記借入金の返済原資として、借入による資金調達を以下のとおり実行しております。

- | | |
|-----------|---------------------|
| (1) 借入先 | S K Tホールディングス株式会社 |
| (2) 借入金額 | 6,487百万円 |
| (3) 借入実行日 | 2021年4月22日 |
| (4) 返済期限 | 2021年10月31日 |
| (5) 利率 | 市場金利等を勘案して決定しております。 |